取扱説明書

ミーレ冷凍冷蔵庫
KFN 12823 SD

ja - JP

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

M.-Nr. 09 435 430

目次

目次

各部の名称

① 冷蔵室電源 ON/OFF ボタン
※ 電源が入っていないときはマスタースイッチ（冷蔵・冷凍室 ON/OFF）

② ダイナミッククーリングボタンと表示ランプ

③ 冷蔵室温度調節ボタン

④ 冷蔵室の設定温度表示ランプ

⑤ 冷凍室の設定温度表示ランプ

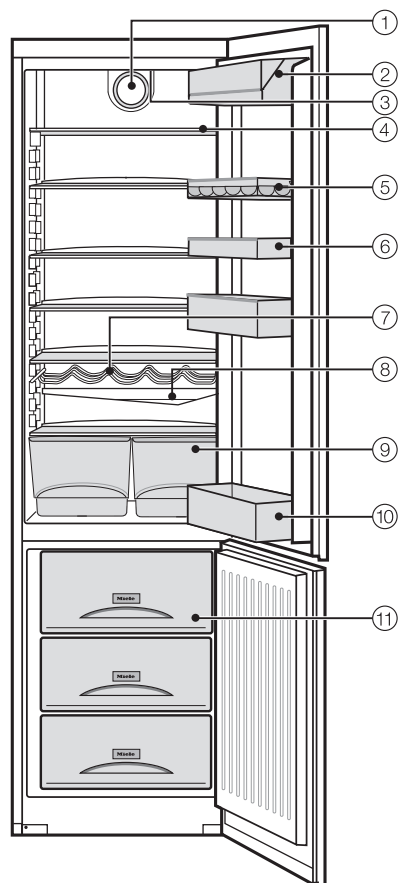
⑥ 冷凍室温度調節ボタン

⑦ 急速冷凍（急冷凍 / 急速製氷）ボタンと表示ランプ

⑧ アラーム解除ボタンと表示ランプ

⑨ 冷凍室電源 ON/OFF ボタン
※ 電源が入っていないときはマスタースイッチ（冷蔵・冷凍室 ON/OFF）

① ダイナミッククーリングファン
② バター / チーズケース
③ 庫内灯
④ 調節可能棚
⑤ 卵ケース
⑥ ドアポケット
⑦ ボトルラック
⑧ 水みちと水抜き穴
⑨ 果物 / 野菜ケース
⑩ ボトル棚

⑪ 引き出し式冷凍ケース

環境保護のために

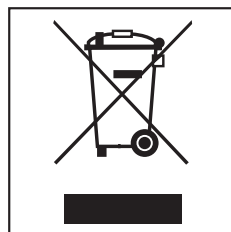
梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用の詰め物は、廃棄する際に環境への影響が少ない材質を使用しており、リサイクルすることができます。

プラスチックの包装や袋は確実に安全に処分し、乳幼児に近づけないでください。窒息する恐れがあります。

これらの梱包材は単に廃棄するよりも、リサイクルすることを心がけてください。

使用済み機器の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。ただし、このような物質は機器が正常に機能するために不可欠なものです。したがって、不要になった機器は家庭ゴミとしては出さないでください。

不要になった機器を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社代理店のアドバイスを受けてください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

機器を主電源から外す作業は必ず有資格者が行ってください。

配管系は、環境保全を考慮した適切な廃棄場に搬送するまで損傷しないように気をつけてください。

これは、冷却回路に含まれている冷媒および冷却装置のオイルが外部に漏れないようにするためです。

安全上のご注意

表示	表示の意味
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損および機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例	
	禁　止（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
	強　制（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
	注　意（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	禁止行為		潜在的な危険・警告・注意
	分解禁止		感電注意
	水場、湿気の多い場所での使用禁止		機器に損害を与える可能性のある場合
	接触禁止		発火注意
	強制／指示		高温注意
	電源接続に関する注意		破裂注意
	必ずアース線を接続		

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意

警　告

本機は地域および国のすべての安全基準に適合していますが､正しくお使いにならないと人的または物的損害の原因になる恐れがあります。

本機をお使いになる前に､本書をよくお読みください。安全上の注意、設置および使用上の注意､お手入れの際の注意が記載されています。よくお読みになって本機を安全に、大事にお使いください。

本書は大切に保管し､次に使用する方にお渡しください。

警　告

正しい用途

この冷蔵庫はご家庭専用です。食品、ドリンク類、および冷凍食品の貯蔵や､生鮮食品のホームフリージングおよび製氷にお使いください。
これ以外の用途には使用しないでください。決められた用途で使用しなかったことや誤操作が原因で起きた被害や損害の製造者責任は負いかねます。

使用中に責任ある人物の立ち会いがある場合、もしくは使用者に対し安全な使用方法と使用上の危険に関する指導が的確に行なわれている場合を除き、身体的、知覚的、または精神的機能が低下している人物もしくは経験や知識が未熟な人物による本機の使用を許可しないでください。

子供の安全

８歳以上のお子様には、安全な使用方法と使用上の危険に関する指導が的確に行なわれている場合に限り、本機の使用を許可してください。
本機はおもちゃではありません。ケガを防ぐために、本機や本機の近く、または操作ダイヤルなどでお子様を遊ばせないでください。また、ドアにぶら下がったりしないように注意してください。
窒息する危険がありますので、ビニール袋やその他の包装材でお子様を遊ばせないでください。

警　告

技術的安全性

本機を設置する前に、外観に損傷がないかどうかを確認してください。損傷がある場合、設置および使用を中止してください。
損傷があると危険です。

電源ケーブルに問題がある場合は、使用者を危険にさらさないために、製造元の認定を受けたサービス技術者のみが電源ケーブルの交換を行います。

本機には、冷媒として環境に優しい天然ガスのイソブタン（R600a）が充填してありますが、イソブタンは可燃性です。イソブタンを使用することによって、運転音が部分的に高くなる可能性がありますが、製品の性能に影響はありません。
本機を運ぶときや設置するときには、冷媒回路の一部でも破損しないように注意してください。噴出する冷媒によって目を負傷することがあります。
冷媒回路を破損した場合 :
－火気や点火源を避けてください。
－電源プラグを抜いてください。
－本機のある部屋を数分間換気してください。
－サービス窓口に通報してください。

 警　告

冷媒の量が多いほど、広い部屋に本機を設置する必要があります。冷媒が漏れた場合、狭い部屋では可燃性のガスと空気の混合物が生成されることがあります。
冷媒 8 g あたり少なくとも 1 m³ のスペースが必要です。冷媒の量は庫内の銘板シールに記載されています。

本書の指示に従って設置および接続が行われている場合のみ、本機の安全な動作が保証されます。

本機の電源プラグをコンセントに差し込む前に、ご使用の電圧と定格消費電力が銘板シールに記載された仕様に適合しているか確認してください。
本機の損傷を防ぐため、この仕様を満たしている必要があります。不明点がある場合は、資格を有する電気技師にご相談ください。

延長コードやマルチソケットを使用して電源に接続しないでください。これらを使用すると過熱などの恐れがあり、所定の安全性が確保できません。

安全上のご注意

⚠ 警　告

地域および国の電気設備基準に従った有効な接地システムと本機が完全に接続されている場合のみ、本機の電気的安全性が保証されます。この基本的な安全要件を満たし、定期的なテストを行う必要があります。何か問題がありそうな場合は、資格を有する電気技師にご家庭の配線系統を検査してもらってください。有効な接地システムがなかったり不十分であることが原因で生じた損傷やケガ（感電など）の製造者責任は負いかねます。

設置、メンテナンス、および修理は、必ず地域および国の電気設備基準に厳密に従って、適任な有資格者が行う必要があります。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

本機が保障期間中の場合、製造元の認定を受けたサービス技術者が修理を行う必要があります。それ以外の人物が修理を行った場合、保証が無効になります。

⚠ 警　告

設置、メンテナンス、および修理作業中は、本機を電源から切り離してください。

以下のいずれかを行うことにより、本機を電源から完全に切り離すことができます。

－電源プラグを抜いて外します。コードではなく電源プラグを引っ張って電源から切り離してください。

－ヒューズ式接続促進装置からヒューズを抜きます。

－ブレーカーを落とします。

－ネジ式ヒューズを取り外します（この作業が可能な国の場合）。

問題のある部品を交換する場合は、ミーレ製の純正部品のみ使用してください。ミーレ製の交換部品が使用されている場合のみ、製造元により本機の安全が保証されます。

有資格技術者が設備のリスクアセスメントを行う場合に限り、船舶などの移動設備での本機の使用を許可します。

ゴキブリなどの害虫が出現しやすい地域では、本機とその周辺を常に清潔な状態に保つよう特に注意してください。ゴキブリなどの害虫を原因とする損傷は保証対象外です。

⚠ 注　意

正しい使用方法

冷凍食品や容器を、ぬれた手で触らないでください。手にくっついて凍ることがあり、凍傷になる恐れがあります。

角氷やスティックアイス、特に氷菓は冷凍室から取り出してすぐに口にしないでください。
低温で唇や舌がくっついて凍ることがあり、凍傷になる恐れがあります。

溶けかけている食品や解凍した食品は再冷凍しないでください。栄養価が下がったり傷んだりするので、解凍した食品はできるだけ早く使用してください。

爆発しやすいものや可燃性ガスを含むもの（スプレー缶など）は貯蔵しないでください。サーモスタットの作動時には火花が発生することがあり、点火性の混合物が爆発する恐れがあります。

庫内で電気機器（電気アイスクリームメーカーなど）を使用しないでください。火花や爆発が生じる恐れがあります。

アルコール濃度の高いものは、きっちり密封し、まっすぐに立てて置いてください。
爆発する恐れがあります。

⚠ 注　意

凍ることがある缶やボトル入り炭酸飲料は冷凍室で貯蔵しないでください。缶やボトルが破裂することがあり、ケガをしたり本機を損傷したりする恐れがあります。

早く冷やすために冷凍室にボトル類を入れた場合は、1時間以内に取り出してください。ボトルが破裂して、ケガをしたり本体を損傷したりする恐れがあります。

賞味期限の切れた食品を食べると、腐敗により病気になる恐れがあります。食品の保存期間は、新鮮度や品質、庫内温度などのいろいろな要因によります。食品メーカーの保存についての注意や賞味期限に注意してください。

先のとがったものや角の鋭いものを使用して

－霜や氷層を取ったり

－凍りついた製氷皿や食品を取り上げないでください。

冷却器を損傷したり、本機が正常に機能しなくなります。

霜取りのために庫内に電熱器やローソクを置かないでください。プラスチックの部材を傷めます。

安全上のご注意

⚠ 注　意

霜取りスプレーや解氷剤は使用しないでください。可燃性ガスを生成したり、プラスチックを傷める溶剤や発泡剤を含んでいたりする可能性があり、健康に有害です。

ドアパッキンにはオイルやグリースをつけないでください。次第に気密性が悪くなり、冷気が漏れる原因になります。

冷蔵庫のドアには食用油を入れないでください。応力によってプラスチックのドア材料に亀裂が入ることがあります。

本体最底部の通気口を塞がないでください。空気の対流が確保できなくなり、消費電力が増加し、部品を傷めることがあります。

守らなければならない気候区分（室温範囲）が指定されています。気候区分は庫内の銘板シールに記載されています。
室温が下がると静止状態が長くなり、所定の庫内温度を維持できなくなります。

本機の霜取りおよび掃除を行うときは、スチームクリーナーは使用しないでください。蒸気が電気部品に達してショートの原因になることがあります。

⚠ 警　告

使用済み機器の廃棄処分

本機を廃棄処分する際には、ドアロックやドアパッキンを外してください。幼児が誤って閉じ込められて生命の危機にさらされるのを防ぐためです。

差し込みプラグを抜き、電源コードを切って使えないようにしてください。例えば、

－蒸発部の冷媒管を突き破ったり

－配管を折ったり

－表面の被覆をかき落としたりして

冷却回路を損傷しないでください。噴出する冷媒によって目を負傷することがあります。

安全上の注意を無視したために生じた被害や損害の製造者責任は負いかねます。

	通常の消費エネルギー	消費エネルギーの増加
設置場所	風通しの良い場所	閉めきった、風通しの良くない場所
	直射日光の当たらない場所	直射日光の当たる場所
	ヒーターやオーブンなどの放熱する器具がそばにない	ヒーターやオーブンなどの放熱する器具のすぐそば
	室温が理想的な 20 °C ぐらい	周辺温度が高い
	通気口を塞がないようにしてください。定期的に、通気口のほこりを取ってください。	
温度を段階的に調節するサーモスタット	中程度の 2 ～ 3 の設定	高い段階を設定した場合 : 庫内の温度を低くすると、より多くのエネルギーが消費されます。
無段階温度調節サーモスタット（デジタル表示）	地下室 8 ～ 12 °C	冬期切り替え機能のある冷蔵庫の場合には、周辺温度が 16 °C を超えるとスイッチが解除されますのでご注意ください。
	冷蔵室 4 ～ 5 °C	
	パーフェクトフレッシュ室 0 °C付近（下回らない）	
	冷凍室 -18 °C	
	ボトルラック 10 ～ 12 °C	
使用における注意事項	引き出し、棚ラックは納品時と同じ配置で使用する	
	ドアをできるだけすばやく開閉する	頻繁にドアを開けたり開けっ放しにしたりすると、冷気が失われます。
	食品をきちんと分類して入れる	庫内がきちんと整頓されていないと、物を探す際にドアを開けている時間が長くなります。
	温かい食品やドリンク類は、冷やしてから入れる	庫内に温かい食品を入れると、冷却装置の作動時間が長くなります（庫内の温度を下げるため）。
	食品はきちんとラップでカバーするか何かで覆って入れる	冷蔵室で水分が蒸発したり濃縮されたりすると、冷気が失われます。
	冷凍食品を冷蔵室内で解凍する	
	空気が循環するように、物を詰めすぎない	
霜取り	氷層が0.5 cmほどの厚さになったら冷凍室の霜取りを行う	氷層により冷凍室の冷却出力が低下し、消費電力が増えます。

電源を入れる / 切る

初めてお使いになる前に

保護フィルム

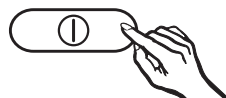
庫内およびドアの棚のステンレス部分は、輸送時に損傷しないように保護フィルムがかかっています。ステンレス部分にかかっている保護フィルムは最終的に設置されるまで取り除かないでください。

■ ステンレス部分にかかっている保護フィルムを注意して取り除いてください。

クリーニング

■ 庫内と付属品を掃除します。ぬるま湯で掃除した後、最後にふきんで拭いて完全に乾かします。

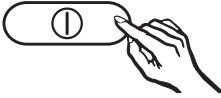
電源をオンにする

操作パネルの右側にあるマスタースイッチを押すか、または操作パネルの左側にあるON/OFF ボタンを押すことにより、冷蔵室と冷凍室の電源を一度に入れることができます。

■ 操作パネルの右側にあるマスタースイッチを押します。

冷蔵室の温度表示ランプに、選択した温度設定が表示されます。冷凍室の温度表示ランプとアラーム表示ランプは、冷凍室が正しい冷凍温度に下がるまでの間点滅しています。

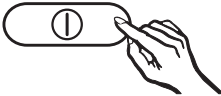
本機の冷却が開始され、ドアを開けると冷蔵室の庫内灯が点灯します。

温度を十分に低くするために、食品を入れる前に本機を数時間予冷してください。

電源をオフにする

■ 両方の温度表示ランプが消灯するまで、操作パネルの右側にあるマスタースイッチを押します。

ドアを開けても庫内灯が点灯しなくなり、冷却が停止されます。

冷蔵室のみ電源をオフにする

冷凍室の電源をオフにせずに冷蔵室のみ電源をオフにすることができます。休暇中などにこの機能を使用すると便利です。

■ 操作パネルの右側にあるマスタースイッチを押します。

冷蔵室と冷凍室の両方の温度表示ランプが点灯します。

■ 操作パネルの左側にある冷蔵室電源 ON/OFF ボタンを、冷蔵室の温度表示ランプが消灯するまで押します。

これで冷蔵室の電源が切れます。

冷凍室の温度表示ランプは点灯したままの状態です。

冷蔵室のみ電源を再びオンにする

■ 操作パネルの左側にある ON/OFF ボタンを再び押します。

冷蔵室の温度表示ランプが点灯します。冷蔵室の冷却が開始されます。ドアを開けると庫内灯が点灯します。

長時間お留守にするときは

長時間ご使用にならないときは、

■ 電源を切って、

■ 電源プラグを抜くかブレーカーを落とし、

■ 冷凍室の霜取りおよび本体の掃除を行って、

■ 臭いがつかないようにドアを少し開けておいてください。

長時間お留守にするときに、掃除しないまま本体の電源をオフにしてドアを閉めきっていると、カビが生える恐れがあります。

適切な温度

食品を貯蔵する際には、正しい温度調節を行うことが重要です。微生物による食品の腐敗は急速に進みますが、適切な貯蔵温度を設定することで、腐敗を防いだり遅らせることができます。温度は微生物の繁殖スピードに影響します。温度を低くすると、微生物の繁殖が遅くなります。

以下の要素に応じて、庫内の温度が高くなります。

– ドアの開閉頻度、開けっ放しにされている時間（多い / 長い場合）
– 貯蔵されている食品の量（多い場合）
– 貯蔵されている食品の温度（高い場合）
– 本体の周辺温度（高い場合）
  守らなければならない気候区分（室温範囲）が指定されています。この範囲を遵守してください。気候区分は庫内の銘板シールに記載されています。

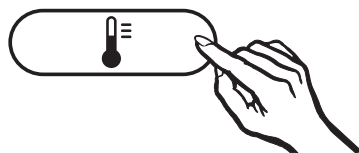
. . . 冷蔵室の温度

冷蔵庫の中段は **5 °C** が最適です。

. . . 冷凍室の温度

生鮮食品を冷凍したり、食品を長期保存したりするには、**-18 °C** に冷却する必要があります。この温度では、微生物が大幅に増加しなくなります。温度が -10 °C 以上になるとすぐに微生物による腐敗が始まり、食品はあまり長期間保存できません。そのため、一度解凍したり溶けたりした食品は再冷凍しないでください。

温度の設定

ゾーンごとに対応する温度調節ボタンを使用して温度を設定します。

■ 設定したい温度の表示ランプが点灯するまで、温度調節ボタンを繰り返し押します。

ボタンを押すごとに温度が変わります。

調節中は、設定されている温度が点滅します。

温度表示ランプ

操作パネルの温度表示ランプは、常に設定された温度が点灯します。

調節可能な温度範囲

調節できる温度範囲は次のとおりです。

- 冷蔵室 :1 〜 9 °C
- 冷凍室 :-15 〜 -32 °C

設定できる最低温度は、設置場所や周辺温度によって異なります。周辺温度が高いと、上記の最低温度に達しない場合もあります。

以下のような場合、**温度表示ランプが点滅します**。

- 庫内温度が調節可能な温度範囲外であるとき
- 設定温度を変えたとき
- 庫内温度が数度上昇したとき（冷気の損失を知らせます。）

以下のような場合、一時的に温度が上昇しても問題ありません。

- 大量の食品を出し入れする際などに、ドアを長めに開けていたとき
- 生鮮食品を冷凍しているとき

冷凍室の温度が長時間 -18 °C を超えていた場合には、冷凍食品が溶けていないか確かめてください。また、このような場合にはできるだけ早めに食品を使い切ってください。

アラーム

本機にはアラームシステムが装備されており、冷凍室の温度が知らないうちに高くなるのを防ぎます。
温度が高すぎる範囲まで上昇すると、アラーム音が鳴ると同時に冷凍室用の温度表示ランプが点滅します。異常な温度範囲を検出するタイミングは、設定した温度によって異なります。

以下の場合、アラーム音がピ、ピ、ピ、ピ（4 回）... と繰り返し鳴ってアラーム表示ランプが点滅します。

－ 冷凍食品を入れたり、整理したり、取り出したりするためにドアを開けっ放しにしたとき

－ 大量の食品を冷凍するとき

ドアアラーム

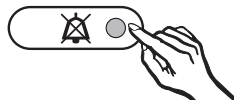
約 60 秒間以上いずれかのドアを開けっ放しにすると、アラーム音が鳴ります。

このとき、アラームはピ、ピ、ピ（3 回）... と繰り返し鳴ります。

アラームシステムを有効にするには

アラームシステムは自動的に作動待機状態になっています。特別にシステムを有効にする必要はありません。

アラーム音を止めておくには

冷凍室の温度が設定温度範囲になると、アラーム音が消え、温度表示ランプが点灯した状態になります。それでも音が気になる場合にはあらかじめ切っておくことができます。

■ アラーム解除ボタンを押します。

アラーム音が消えます。アラーム状態が終わるまで温度表示ランプが点滅します。アラーム状態が終わると表示は点灯したままになります。これでアラームシステムは再び作動待機状態になります。

急速冷凍機能について

食品を最適に冷凍するには、冷凍する前に急速冷凍機能を有効にしておく必要があります。

以下の場合、急速冷凍機能は必要ありません。

– すでに冷凍されているものを入れるとき

– 日に 2 kg の食品しか入れないとき

急速冷凍を有効にするには

冷凍する食品を入れる 6 時間前に急速冷凍機能を有効にする必要があります。**最大の冷凍能力**が必要な場合には、**24 時間前**に有効にしてください。

■ 急速冷凍ボタンを押すと、表示ランプが点灯します。

冷凍室が最大冷却能力で作動し、冷凍室の温度が下がります。

急速冷凍を無効にするには

急速冷凍機能は、約 65 時間後に自動的に解除されます。表示ランプが消えて、通常の節電運転に戻ります。

節電のため、冷凍室の温度が -18 °C 以下に**安定したら**、急速冷凍機能を手動で解除することもできます。

■ 急速冷凍ボタンを押すと、表示ランプが消えます。本機が再び通常運転に戻ります。

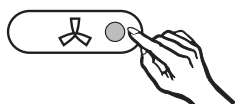
ダイナミッククーリング

ダイナミッククーリング機能を無効にすると、庫内の空気が自然対流します。重い冷気は庫内の底に沈み、冷蔵室内の温度が均一になりません。このことを考慮して庫内に食品を配置する必要があります（「冷蔵室を上手に活用する」を参照）。しかし、一度に大量の食品を冷蔵室に入れる場合は、ダイナミッククーリング機能を使用することをお奨めします。この機能を有効にすると、庫内全体の温度を均一にできるため、すべての食品をだいたい同じ温度に冷やすことができます。
温度は、温度制御により通常温度に設定されます。

以下の場合も、ダイナミッククーリング機能を有効にしてください。

－ 周辺温度が高い場合（約 30 °C 以上）

－ 室内の湿度が高い場合

ダイナミッククーリングを有効にするには

■ ダイナミッククーリングボタンを押すと、ダイナミッククーリング表示ランプが点灯します。

空気循環が妨げられないように、本機背面のファンが稼働可能な状態であることを確認してください。

ダイナミッククーリングを無効にするには

■ ダイナミッククーリングボタン を押します。ダイナミッククーリング表示ランプが消えます。

ドアを開けると、ファンが自動的に停止します。

冷蔵室の温度分布

冷蔵室は、空気の自然対流によって、さまざまな温度範囲に分かれます。重い冷気は庫内の底に沈みます。食品の種類に応じて適切な冷蔵区域をご利用ください。

本機には、ファンの稼働中に温度を均一に保つダイナミッククーリング機能が付いています。ダイナミッククーリングを有効にすると、冷蔵区域間の温度差が少なくなります。

最も温度が高い部分

冷蔵室内で最も温度が高いのは、ドアの一番上で、塗りやすさを保つためにバターを保存したり、香りを逃がさないようにチーズを保存したりします。

最も温度が低い部分

冷蔵室内で最も温度が低いのは、野菜ケースのすぐ上です。

以下のような傷みやすい食品はこの区域に配置します。

- 魚類および肉類
- ソーセージおよび加工食品
- 卵やクリームを含む食品、菓子類
- ケーキ、ピザ、キッシュ用の生の生地
- 原乳のチーズやその他の原乳製品
- 包装された野菜加工食品や、保存温度が4 °C以下という条件で消費期限が設定されている生鮮食品

爆発しやすいものや可燃性ガスを含むもの（スプレー缶など）は貯蔵しないでください。爆発する恐れがあります。

アルコール濃度の高いものは、きっちり密封し、まっすぐに立てて置いてください。

冷蔵庫のドアには食用油を入れないでください。応力によってプラスチックのドア材料に亀裂が入ることがあります。

食品は後ろの壁面に触れないように置いてください。後ろの壁面に凍りつくことがあります。

空気が効率的に循環するように、食品の間を近づけすぎないようにして配置してください。後ろの壁面にあるファンを覆わないようにしてください。これは本機の冷却に必要なファンです。

冷蔵室を上手に活用する

冷蔵に向いていない食品

すべての食品が冷蔵室での貯蔵に向いているとは限りません。中には寒さに敏感な食品もあります。例えば、キュウリはしなびてしまい、ナスは苦くなり、ジャガイモは甘くなります。トマトやオレンジは香りが落ち、柑橘類の皮は堅くなります。

冷蔵に向いていない食品 :

- パイナップル、ザクロ、バナナ、アボカド、マンゴー、パパイヤ、パッションフルーツ、柑橘類
- 貯蔵中に熟成する果物
- ナス、キュウリ、ジャガイモ、ピーマン / トウガラシ、トマト、ズッキーニ
- ハードチーズ（パルメザン）

食品を買うときの注意

最初に冷蔵庫に入れたときの食品の鮮度により、その食品の鮮度をどのくらい保てるかと、その食品を冷蔵庫内でどのくらい貯蔵できるかが決まります。冷蔵されていない時間（持ち帰り時間など）を最小限にする必要があります。例えば、暑い車の中に食品を長時間置かないようにしてください。食品の腐敗は、いったん始まると元に戻りません。2 時間ほど冷蔵庫の外に置いただけで、食品の腐敗が始まります。

食品の貯蔵のしかた

通常、食品はラップで包むか十分に覆って貯蔵してください。他の食品の臭いがうつったり、干からびたり、細菌に感染したりするのを防げます。庫内温度を正しく設定し、適切な衛生対策をとることで、サルモネラ菌などの細菌の繁殖を抑えることができます。

果物と野菜

果物や野菜はラップに包まないで野菜ケースに貯蔵できます。ただし、すべての果物および野菜が同じケース内での貯蔵に適するわけではないことに注意してください。香りや風味が別の食品にうつる場合があります（例えば、ニンジンにはタマネギの臭いと風味がうつりやすい）。また、食品によっては熟成を促進する植物ガス（エチレン）を排出するものもあります。

- **植物ガスを多く排出する果物と野菜 :**

  リンゴ、アンズ、西洋ナシ、ネクタリン、桃、プラム、アボカド、いちじく、ブルーベリー、メロン、豆類

– **他の果物や野菜類の植物ガスに過敏に反応する果物および野菜：**

キウイ、ブロッコリー、カリフラワー、芽キャベツ、マンゴー、メロン、リンゴ、アンズ、キュウリ、トマト、西洋ナシ、ネクタリン、桃

例：ブロッコリーをリンゴと一緒に貯蔵しないでください。リンゴは植物ガスを大量に排出します。ブロッコリーはこのガスに過敏に反応し、保存可能期間が短くなってしまいます。

包装されていない肉類と野菜類

包装されていない肉類と野菜類は別々に貯蔵してください。細菌の感染を防ぐために、これらの食品はラップに包まれている場合以外は一緒に貯蔵しないでください。

タンパク質を多く含む食品

タンパク質を多く含む食品は、他の食品よりも早く腐ります。
例えば、甲殻類は魚類よりも、魚類は肉類よりも早く腐ります。

肉類

肉類はラップで包まずに貯蔵してください（肉類が完全に覆われないようにラップを少し外して容器を開けておいてください）。そうすることで肉類の周囲の空気が循環し、表面が少し乾燥するので、細菌の繁殖を抑えることができます。細菌の感染や肉の腐敗の危険性をなくすために、種類の異なる肉類を直接接触させないようにしてください。

棚の移動

棚は冷やすものの高さによって入れ替えられます。

■ 棚を持ち上げ、わきのくぼみが棚支えと一直線になるまで少し手前に引き出します。その後、棚を必要な高さに上げたり下げたりします。

高くなっている後部の縁が上向きになるようにしてください。これは、食品が後ろの壁面に触れて凍りつくのを防ぐためです。

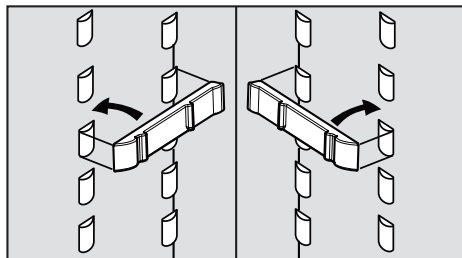
誤って棚が外れてしまわないようにストッパーが付いています。

分割式棚

背の高いボトルや入れ物を置けるように、棚の手前の一部が取り外せる分割式の棚があります。

■ ガラス棚の後ろ半分を下から軽く押します。同時に、ガラス棚の手前半分を軽く持ち上げ、後部の棚の下にゆっくりとスライドしてください。

分割式棚を取り外すには :

■ 分割式ガラス棚の手前半分と後ろ半分の両方を取り外してください。

■ 2つの取り付け用部品を両側にある必要な高さの棚支えにはめ込みます。

■ ガラス棚を 1 枚ずつ押し込みます。
縁が高くなっている方の棚を後ろ側にしてください。

ドアポケット / ボトル棚の調節

■ ドアポケット / ボトル棚は､引っ張り上げて手前に取り外します。

■ ドアポケット / ボトル棚をお好みの位置に付けなおします。付けなおした後は、部品が正しく、しっかりと突起部に押し込まれているか確認してください。

最大冷凍能力

できるだけすばやく食品の中心部まで冷凍するために、最大冷凍能力を超えないようにしてください。本機の冷凍能力は、日本工業規格（JISC9607）に規定された条件で試験した場合、 フォースターに区分されます。

生鮮食品を冷凍するとどうなるの？

栄養分やビタミン類、姿、形や風味が損なわれないようにするために、生鮮食品はできるだけ早く冷凍する必要があります。

ゆっくり冷凍するほど、細胞からより多くの水分がすき間に出てしまいます。その結果、細胞が収縮してしまいます。
解凍の際には、流出した水分の一部しか細胞に戻りません。残りの水分は、食品の周りに水たまりとなって残ります。

一方、食品を急速に冷凍すると、細胞から水分が出て行く時間が短くなります。そのため、細胞の収縮を大幅に抑えられます。解凍の際には、すき間に流出したわずかの水分しか失われないため、食品のみずみずしさがほんのわずかしか失われません。解凍時にわずかに水がたまる程度です。

加工冷凍食品を保存するとき

加工冷凍食品を買って冷蔵室に保存する際は、以下の事項を確認してください。

– 包装が破損していないか
– 保存期限
– 販売店のフリーザーの温度。この温度が -18 °C 以上の場合には食品の保存期限が短くなります。

■ 冷凍食品は最後に買い求め、新聞紙に包むか、クーラーバッグに入れて持ち帰ります。

■ 冷凍食品はすぐに冷凍室に入れます。

一度解凍したり溶けたりしたものは再冷凍しないでください。

冷凍と冷凍室の使い方

ホームフリージングするとき

冷凍には新鮮で傷のない食品だけをお使いください。

冷凍する前にお気をつけください

- **冷凍に向いているもの：**新鮮な生肉、鶏肉、猟鳥獣の肉、魚、野菜、ハーブ、熟していない果物、乳製品、パン・ケーキ類、残り物、卵黄、卵白、その他調理済みの食品
- **冷凍に向いていないもの：**ブドウ、サラダ用葉菜、ラディッシュ、大根、サワークリーム、マヨネーズ、容器に入れた卵、玉ねぎ、加工されていないリンゴやナシ
- 野菜や果物は、色、味、香りやビタミンCを保つために冷凍する前に湯通しする必要があります。
  小分けして、2 ～ 3 分間熱湯に浸してください。熱湯から取り出した後は氷水でいっきに冷やし、最後に水切りします。
- 赤身は脂身の多い肉に比べて冷凍に向いており、より長い間貯蔵できます。
- カツレツやステーキ、シュニッツェルなどは 1 枚ずつラップをはさみ、一緒に凍って一塊にならないようにしてください。
- 生ものや湯通しした野菜は、冷凍する前に味付けしたり塩味をつけたりしないでください。少しだけ味をつけるだけにしてください。調味料は、冷凍されると味加減が変化します。
- すでに冷凍済みの食品が溶けないように、また節電のためにも、温かい食品やドリンク類は冷ましてから入れてください。

ラッピング

■ 1 人分もしくは1 回分に分けて冷凍します。

包装に適さないラッピング材

- 包装紙
- 硫酸紙（防水 / 耐脂性半透明紙）
- セロファン
- ゴミ袋
- 使用済みの買い物袋

包装に適したラッピング材

- 樹脂製ラップフィルム
- ポリエチレン製の筒状のラップフィルム
- アルミ箔
- 冷凍専用の容器

■ 包装内の空気を押し出してください。

■ 包装を密封するには以下のものを使用します。

- 輪ゴム
- プラスチック製のクリップ
- 荷造り用のひも
- 耐寒テープ

ポリエチレン製の袋や筒状ラップフィルムはヒートシーリングできます。

■ 冷凍した中身と日付を記入します。

冷凍室に入れる前に

- 2 kg 以上の生鮮食品を冷凍する場合は、食品を入れる少し前に急速冷凍機能をオンにしてください(「急速冷凍機能について」を参照)。

すでに冷蔵室内に入れてある食品が溶けるのを防ぐことができます。

冷凍室に入れる

本機が冷凍できる食品の最大量（最大冷凍能力）は、それぞれ以下の重さまでです。
-引き出し式冷凍ケース = 25 kg
-ガラス製冷却プレート = 35 kg

すでに冷凍済みの食品が溶けないように、これから冷凍するものは凍っているものに絶対に触れないように入れてください。

- 食品が凍って互いにくっつかないように、包装の湿気を取ってから冷凍室に入れます。

小さい食品を冷凍する

サイズの小さい食品は、上段の冷凍ケースに入れます。

- できるだけ早く完全に冷凍できるように、食品は引き出し式冷凍ケースの底に広げて置きます。

冷凍ケースを取り外す必要がある場合でも、一番下のケースだけは取り外さないでください。ガラス製冷却プレートに食品を置く際には、後ろの壁にある通気口を塞がないようにしてください。本機の正常な動作と標準的な消費電力を保つために重要な部分です。

最大量を冷凍する

（「最大冷凍能力」の項を参照してください。）

- 上段のふたつの冷凍ケースを取り外します。

- できるだけ早く完全に冷凍できるように、食品を上段のガラス製冷却プレートに広げて置きます。

冷凍済みの食品：

- 冷却プレート上で冷凍した食品は、引き出し式冷凍ケースに移して保存します。

大きい食品を冷凍する

七面鳥や狩鳥獣の肉などの大きい食品を冷凍したい場合、引き出し式冷凍ケースの間のガラス製冷却プレートを外すことができます。

- ２つの引き出し式冷凍ケースを取り外し、ガラス製冷却プレートを注意しながら持ち上げてスライドして取り外します。

解凍

冷凍食品を解凍するには、以下の方法があります。

– 電子レンジ

– オーブンの「熱風加熱」もしくは「解凍」メニュー

– 室温（自然解凍）

– 冷蔵室内（冷凍食品からの冷気により他の食品が冷やされます）

– 蒸し器

肉や魚の切り身を解凍する場合は、衛生的な方法で行うことが特に大切です。鳥肉から溶け出た汁気は調理に使用しないでください。汁気を捨て、容器、シンク、手をよく洗ってください。サルモネラ菌中毒の恐れがあります。

肉や魚類（挽肉、鶏肉、魚の切り身等）を解凍する場合は、解凍中の肉が他の食品に触れないように注意してください。溶け出た肉汁は必ず捨ててください。

果物は包装したままボウルに入れ、ふたをして室温で解凍します。

野菜は、通常は凍ったままの状態で沸騰したお湯に入れるか、もしくは高温の油で揚げます。細胞構造の変化により、冷凍食品の調理時間は新鮮な野菜よりも多少短くなります。

一度解凍したり溶けたりしたものは再冷凍しないでください。

角氷

■ 水を4分の3くらいまで入れた製氷皿をいずれかの引き出し式冷凍ケースの底に置きます。

■ 凍ったら、スプーンの柄などを使用して、冷凍室から製氷皿を取り出します。

■ 製氷皿を軽くねじるかまたは少しの間冷たい流水をかけることにより、角氷を製氷皿から簡単に取り出せます。

ドリンク類を急いで冷やすには

ドリンク類を急いで冷やすために冷凍室にボトル類を入れた場合、**1 時間以内に必ず取り出してください**。

1 時間以内に取り出さないと、ボトルが破裂する恐れがあります。

自動霜取り

冷蔵室

冷蔵室は霜取りが自動的に行われます。

冷却装置の運転時には、冷蔵室の後ろの壁面に霜や水滴が付くことがあります。霜は自動的に解凍されて蒸発するので、霜取りする必要はありません。

溶けた水は水みちと水抜き穴を通って、本体背面の気化装置に流れこみます。

溶けた水がスムーズに流れ出るように、水みちや水抜き穴はきれいにしておいてください。

冷凍室

本機には「ノーフリージング」装置が付いています。冷凍室は自動的に霜取りされます。

本機内でできた水滴がコンデンサに集まり、コンデンサによって時々自動的に解凍されて放散されます。

この自動霜取り装置により冷凍室は常に霜のない状態を保てますが、冷凍室に貯蔵されている食品は霜取りされません。

操作パネル、庫内灯、通気口には水がかからないように注意してください。

清掃時に水みちや水抜き穴の中に流れないようにしてください。

スチームクリーナーは使用しないでください。蒸気が電気部品に達してショートの原因になることがあります。

庫内の銘板シールははがさないでください。故障時に必要となります。

本製品の表面のダメージを防ぐために以下のものは使用しないでください。

- ソーダ（炭酸ナトリウム)、アンモニア、酸、塩素、が入っている洗剤
- カルキ除去剤
- 研磨剤の入っている粉末洗剤やクリーム洗剤
- 溶剤
- ステンレス用クリーナー
- 食器洗い機用の洗剤
- オーブンスプレー
- グラス用洗剤
- 硬い研磨用のスポンジ・たわし
- マジックイレイザー
- 鋭いスクレーパー

掃除する前に

- 本体の電源を切り、電源プラグを抜きます。
- 冷蔵しているものを取り出して、冷たい場所に置きます。
- 取り外せる部品はすべて取り外します。

庫内と付属品のクリーニング

- 少なくとも1ヶ月に1回温かい湯に少量の洗剤を溶かした溶液を使用して掃除します。

通気口

- 少なくとも1ヶ月に1回温かい湯に少量の洗剤を溶かした溶液を使用して掃除します。

付着した汚れが乾燥してこびり付かないように、汚れはすぐに拭き取ってください。

以下のものは食器洗い機で洗浄可能です。

- バターケース、卵ケース、製氷皿（モデルによって異なります）
- ドアのボトル棚
- バター / チーズケース

食器洗い機のプログラム温度は 55 ℃を超えないようにしてください。人参やトマトやケチャップなどの食材にふれるとプラスチックのアイテムが変色する場合がありますが、耐久性には影響ありません。

掃除とお手入れ

■ 調節可能棚や引き出しは手で洗ってください。食器洗い機での洗浄には適**していません**。

■ 本体背面の気化装置に流れ込む水みちと水抜き穴は頻繁に掃除してください。必要であればストローのようなもので掃除してください。

■ 掃除のあと庫内付属品を湿った布と乾いた柔らかい布で拭きます。換気のためにドアを少しの間、開けたままにします。

ドアと側面

ドアや側面についた汚れはすぐに取り除いてください。すぐに取り除かない場合は汚れが取れなくなったり表面が変質や変色する恐れがあります。

すべての表面は傷がつきやすい材質になっています。不適切な洗剤を使用することにより表面が変質・変色する恐れがあります。

■ 表面は少量の洗剤を溶かしたお湯に浸したスポンジを使用してください。湿らせたマイクロファイバークロスの場合、洗剤を使用することなく掃除できます。

■ 掃除のあとは、湿った布と乾いた柔らかい布で拭いてください。

背面の金属格子

本体背面の金属格子（熱交換器）は、少なくとも年に1回はほこりを取ってください。ほこりが溜まると消費電力が増えます。

■ 金属格子を掃除するときには、電気コードや構成部品をはがしたり、曲げたり、傷つけたりしないように注意してください。

ドアパッキン

ドアパッキンにはオイルやグリースをつけないでください。次第に気密性が悪くなり、冷気が漏れる原因になります。

ドアパッキンは定期的に水拭きし、最後にふきんで完全に水分を拭き取ります。

掃除したあとは

■ 冷蔵室の部品を取り付けます。

■ 冷蔵室に食品を入れ、ドアを閉めます。その後に、電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

■ 急速冷凍機能をオンにして冷凍室をすばやく冷却します。

■ 冷凍室の温度が十分に下がり次第、冷凍室に冷凍食品を入れます。

■ 急速冷凍ボタンを押して機能を解除します。

電気器具の修理は、必ず地域および国の電気設備基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければなりません。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

こんなとき、どうしたらいい？. .

. . . 冷蔵庫が冷えないときは？

- ■ 冷蔵庫の電源が入っているか確認してください。温度表示ランプが点灯している必要があります。
- ■ 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているか確認してください。
- ■ ヒューズに問題がなく、ブレーカーが落ちていないことを確認してください。該当する場合は、弊社コールセンターにお問い合わせください。

. . . 冷蔵室や冷凍室の温度が低すぎるのは？

- ■ 温度を高めに設定してください。
- ■ 急速冷凍機能がオンになっていて、急速冷凍表示ランプが点灯している可能性があります。
  急速冷凍機能は、約 65 時間後に自動的に解除されます。
- ■ ドアがきちんと閉じられているか確認してください。
- ■ 大量の食品を一度に冷凍しませんでしたか?
  食品を大量に入れると冷却装置が非常に長時間作動し、冷蔵室の温度も自動的に低下します。

. . . 冷却装置の始動回数が多かったり、作動時間が長いときは？

- ■ ファンの通気口が塞がっていたり汚れたりしていないか確認してください。
- ■ 背面の金属格子（熱交換器）にほこりがついていないか確認してください。
- ■ ドアが頻繁に開けられたか、大量の食品が冷凍されている可能性があります。
- ■ ドアがきちんと閉じられているか確認してください。

. . . 冷凍室の温度が高すぎて冷凍食品が溶けてしまうときは？

- ■ 室温が本機に指定された室温を下回っていませんか？

  室温を上げてください。

室温が低すぎると、冷却装置が長い間作動しなくなり、冷凍室の温度が高くなることがあります。

こんなとき、どうしたらいい？

. . . 冷凍食品が庫内に凍りついているときは？

スプーンの柄やプラスチック製のスクレーパーなど、先のとがっていないもので注意しながら食品を取り外してください。

. . . 冷凍室のドアを何回も続けて開けられないのは？

これは故障ではありません。ドアを開閉したことによる吸引作用によってドアが開かなくなっています。しばらくすれば力を入れなくても開けられます。

. . アラームが鳴ったときは？

いずれかのドアを 60 秒間以上開けたままにしていませんでしたか？

■ ドアを閉じてください。

. . . アラームが鳴って、冷凍室の温度表示ランプが点滅するときは？

以下のような場合には、冷凍室の温度が設定温度以上に上昇します。

■ 冷凍室のドアを頻繁に開けたとき、もしくは大量の食品を冷凍室に入れたとき

これを回避するために、大量の食品を入れる前に急速冷凍をあらかじめ作動させておくことをお奨めします。

■ 通気口が塞がれているとき

上記のような障害を取り除くと、冷凍室の温度表示ランプは点灯に変わり、アラーム音は消えます。

. . . 急速冷凍表示ランプ（赤）と冷蔵室の設定温度表示ランプが複数個点滅し、アラームの音が 4 回連続「ピ、ピ、ピ、ピ」と鳴るときは？

温度センサーの故障です。弊社コールセンターまでお電話でお問い合わせください。

アラーム解除ボタンで音は消せます。この状態のときは特別なプログラムで最低限に冷えるように作動する場合があります。その場合は電源は切らずにお使いいただいてサービスが来るのをお待ちください。

. . . 庫内灯がつかないときは？

■ 冷蔵室のドアが開けっ放しになっていませんでしたか？ドアが約 15 分間開いていると、照明は自動的に消えます。

そうでなければ、電球が切れています。

■ サービス窓口に連絡してください。
　ＬＥＤ照明の修理・交換はサービス技術者でなければできません。カバーの下にある部品には電流が通じています。けがをしたり、本機を損傷したりするおそれがあります。

カバーを外さないでください。カバーが壊れた場合、また壊れたカバーを外す必要がある場合は**慎重に行動してください。照明にはレーザー光（クラス1Mのレーザー光線）が使用されているため、直視は避けてください。また、照明を見るとき虫眼鏡などの光学機器を使わないでください。**

. . . 冷蔵室の底が濡れているときは？

水抜き穴が塞がっています。

■ 水みちと水抜き穴を掃除してください。

上記の方法では不具合が取り除けないときには、サービス窓口にお問い合わせください。

不具合が取り除かれるまで、冷気が庫外に逃げないようにするために、ドアをできるだけ開けないようにしてください。

動作音

通常の状態で聞こえる音	音が聞こえる原因
「ブーン」	うなるような音はモーター（冷却装置）の運転音です。モーターが動作すると、音が少しの間大きくなることがあります。
「ボコボコ」	沸騰するような音、うがいのような音、または回転音のような音は、配管を流れる冷媒の音です。
「カチッ」	サーモスタットによってモーターが作動したり停止したりする音です。
「シュー」	複数の冷却区分があるタイプやノーフリージングのタイプでは、庫内で空気が流れる小さい音が聞こえることがあります。
「パキパキ」	装置の内部の材質が膨張するときに聞こえる場合があります。

冷却回路のモーター音や水流音を消すことはできません。

こんな音はすぐに消せます	音の聞こえる原因と消しかた
「カタカタ」、「ゴトゴト」、「カチャカチャ」	**冷蔵庫が水平に設置されていません。**水準器を使って冷蔵庫が水平になるように調節します。冷蔵庫の下にあるネジ調節脚を使用するか、何か適当な高さのものを下に敷きます。
	冷蔵庫が家具または別の電気器具に接触しています。冷蔵庫を少し移動して触れないようにします。
	冷凍ケース、かご、もしくは棚がぐらぐら揺れるかはさまっています。取り外し可能な部品をチェックして、必要であれば新しいものと交換します。
	ボトルや容器が接触しています。ボトルや容器が互いに触れないように離して置きます。
	冷蔵庫の背面にまだ輸送用のコードクリップが付いています。コードクリップを取り外します。

仕様

モデル名：	KFN 12823 SD
タイプ：	ノンフロン冷凍冷蔵庫
外形寸法（mm）：	幅 598 ×奥行 662 ×高さ 1820
質量（kg）：	83.6
電源：	AC 100V　50Hz / 60Hz 共通
設置方式：	単独置き専用
有効内容積（リットル）：	冷蔵：231 冷凍：89
冷凍能力：	*＊＊＊
冷却方式：	間冷式（冷気強制循環方式）
霜取方式：	冷蔵：自動 冷凍：自動

アフターサービス、銘板シール

自分では修理できない故障が生じた場合や、本機が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

– ミーレ販売代理店

– ミーレのコールセンター（所在地は裏表紙を参照）

サービス向上のためにお客様の電話はモニターして録音することがありますのでご了承ください。

コールセンターにお問い合わせになる場合、銘板シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。

電源接続

電気配線等の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源を切ってあることを確認してください。

本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。充電部は露出させないでください。

本製品を延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、アンペア数については、型式表示シールに記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合ったブレーカーを経由して行ってください。

＜重要＞

単相100V専用コンセントコードにて納品されます。

コンセントの形状を確認の上、確実に接続してください。

＜警告＞

本製品は、必ず接地（アース）してください。

＜重要＞

本製品の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地を行って初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。
感電などの不十分な接地の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的または間接的に、不正な設置や接続が行われた場合の被害・損害に対しては、いずれの場合も製造者責任を負いかねます。

設置

トースターや電子レンジなどの発熱する器具を冷蔵庫の上に置かないでください。消費電力が増えます。

本機を別の冷蔵庫または冷凍庫の真横に設置しないでください。
本機には側面ヒーターが付いていないため、別の冷蔵庫または冷凍庫の真横に本機を設置すると、両機の間に結露が生じる可能性があります。
詳細については、弊社代理店にお問い合わせください。

設置場所

本機は、湿気のない風通しの良い部屋に設置してください。直射日光の当たる場所や、レンジやヒーターなどの発熱する器具の真横には設置しないでください。室温は、本機に指定されている気候区分の範囲外にならないようにしてください。室温が高いほど、多くのエネルギーが本機の動作に必要になります。また、床が柔らかい場所には設置しないで下さい。本体底部が床に当たり、振動音がすることがあります。

通気

本体背面の空気は暖かくなるので、スムーズに換気できるよう、通気口を塞がないようにしてください。定期的に、通気口のほこりを取ってください。

設置

■ 本体背面のコードクリップを取り外します。

■ 本体背面の各部が干渉しあっていないか確認します。必要に応じて隣接する部分を慎重に曲げて引き離します。

■ 背面を壁側にして慎重に設置場所に本機を押し入れます。

愛情点検

長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

- ●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
- ●運転中に異常な音や振動がする
- ●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- ●こげくさい臭いがする
- ●冷凍冷蔵庫をさわるとビリビリ電気を感じる
- ●その他の異常や故障がある

● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コールセンター 0120-310-647(ユーザー専用・月ー金 9:00-17:30)

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス(本社) 1F(ショールーム)

www.miele.co.jp

M.-Nr. 09 435 430 / 00